

2022年度

群馬県ユネスコ連絡協議会

# 定期総会議案書



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



群馬県ユネスコ連絡協議会

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日時 2022年5月22日(日) 13:30~

会場 桐生市市民文化会館 国際会議室

# ユネスコ憲章（前文）

この憲章の当事国政府は、その国民に代わって次のとおり宣言する。

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終わりを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代わりに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果たさなければならない神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって、平和は、失われたいためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かれなければならない。

これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探求され、且つ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を発展させ及び増加させること並びに相互に理解し及び相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。

その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、且つその憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。

（国際連合教育科学文化機関憲章前文）

## － 次 第 －

### I 総会

13:30～14:30

<司会>桐生ユネスコ協会 丹羽 あゆみ

- 1 開会のことば 司会
- 2 ユネスコの歌斉唱
- 3 あいさつ  
群馬県ユネスコ連絡協議会会長 樋口 克己  
桐生ユネスコ協会会長 田中 一枝  
桐生市長 荒木 恵司 様  
みどり市長 須藤 昭男 様
- 4 来賓紹介 桐生市教育長 小林 一弘様紹介 司会
- 5 議長選出 \* 県ユ連会長が議長となる
- 6 議事  
(1) 2021年度事業報告 県ユ連事務局長 松本千恵子  
(2) 2021年度決算報告 県ユ連会計 徳井理恵子  
(3) 2021年度会計監査報告 県ユ連監事 新井 正雄  
(4) 役員改選  
①推薦委員会報告 推薦委員長 山崎 貞幸  
②役員承認  
③旧役員退任挨拶、新役員就任挨拶 \* 議長交代  
(5) 2022年度活動方針(案) 県ユ連会長 岸 正博  
(6) 2022年度事業計画(案) 県ユ連事務局長 依田 治雄  
(7) 2022年度予算(案) 県ユ連会計 貫井真由美  
(8) その他
- 7 議長退任
- 8 閉会のことば 前県ユ連副会長(桐生ユ協名誉会長) 北川紘一郎  
\* 諸連絡 司会

### II アトラクション

14:40～15:10

- (1) 演奏者紹介 司会
- (2) 公 演 金子勇人氏による電子オルガン演奏
- (3) 謝 辞 桐生ユネスコ協会会長 田中 一枝

#### 【演奏者プロフィール】

群馬県みどり市出身。14歳から電子オルガンの練習を開始しわずか1年で全国優勝を果たし、大学時代にはローランドオルガンコンクール及びカワイ音楽コンクール全国大会で1位になる。その後指導者、コンクール審査員として活躍し、現在は音楽制作、教育事業、金融教育事業等を営む株式会社インプライズ代表取締役を務めている。(桐生ユネスコ協会会員)

## 2021年度 事業報告

	事業名	期 日	会 場	備 考
県ユ連主催事業	定期総会	5月22日(土) 対面中止	桐生市市民文化会館	コロナ禍により対面会議を避け書面議決(事業報告・決算報告・監査報告・事業計画(案)・予算(案)等)
	運営研修会兼 事務局員研修会	11月27日(土)	館林城沼公民館	①研究協議 ②講演会:『シビックプライド!日本遺産「里沼」講座』
	研修視察	7月3日(土)	中之条ツインプラザ 交流ホール	①講話:『南北朝時代の吾妻と青山氏～闘茶の伝承～』 ②白久保のお茶講体験
	海外青年交歓研修会	中止		コロナ禍より計画段階で中止
	広報誌「ユネスコ群馬」 第80号刊行 第81号刊行	発行日 7月1日(木) 1月12日(水)		<県ユ連広報委員会担当> 県ユ連事務局員が編集 (会員全員及び関係者に配布)
委員会事業	ユネスコスクール研修会	1月27日(木)	藤岡市総合学習センター(会長現地参加) 残りの全参加者はオンラインにて参加	<ユネスコスクール委員会担当> ①講演:『ESD/ユネスコスクールの新たな潮流・・・』 ②ユネスコスクール活動報告 高崎市立六郷小、藤岡市立北中
	世界遺産研修会	2月26日(土) 中止	伊勢崎市 境島村公民館	①講演『島村は利根川の賜物』 講師:田島達行氏 ②見学・散策
補助事業	国際理解バス	中止		代替事業を行ったユ協あり ※P8を参照
	文化活動補助 —絵画等作品展の補助—	ユ協毎に実施	ユ協毎に実施	※P8を参照
県ユ連の会議	理事会	年間6回 (隔月開催)	高崎市中央公民館 前橋プラザ元気21	コロナ感染警戒度4 警戒度3以下
	役員会議	中止		コロナ禍により中止
	日ユ協連定時総会	6月12日(土)	東京・大手町	来場を制限して対面開催
日ユ協連等	日本ユネスコ運動全国大会	12月5日(日)	大阪府堺市 桃山学院教育大学 エレノアホール	近畿ブロックは会場参加 その他はオンライン参加
	関東ブロックユネスコ活動 研究会 in 栃木	10月2日(土)	栃木県足利市	オンライン開催 前橋ユネスコ協会 第2分科 会で発表
	日ユ協連評議員会に出席	11/27 1/29		書面開催 オンライン開催
	世界寺子屋運動実践 (日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が「書きそんじハガ キ回収キャンペーン」を推進
その他	東日本大震災子ども支援募金 (日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が募金を継続、震災 被害者に就学支援

2021年度 補助事業実績報告書

事業名 (主管)	群馬県ユネスコ連絡協議会定期総会 *中止し、書面議決とした。 (主管) 桐生ユネスコ協会
趣旨・目的	群馬県ユネスコ連絡協議会会則第9条は「総会は各協会会員の出席によって開催し、次の事項を審議し議決する。」と謳っている。 総会開催の目的は前年度事業報告・決算報告・監査報告、本年度活動方針・事業計画・予算の承認を得ることである。 しかし、新型コロナウイルス感染症が蔓延している中で、さらなる感染拡大を防止する観点から開催を中止し、書面表決により議決することとした。
日時	2021年5月22日(日) 13:30～(中止)
場所	桐生市市民文化会館 国際会議室
参加対象及び 表決参加者	<参加対象> 県内のユネスコ会員、国際ソロプチミスト前橋会員及び県内のユネスコ関係者 <書面表決参加者数> 36名 *この36名の皆さんは、事前に総会に参加する旨、申し出た人で、その方々に書面表決に参加していただいた。
事業内容 ・方法	○前年度事業報告・決算報告・監査報告の審議と承認 ○関ブロ群馬大会決算報告並びに監査報告についての承認 ○本年度活動方針(案)・事業計画(案)・予算(案)の審議と承認
期待される 事業の効果	○前年度の県ユ連の活動を総括することができた。 ○関ブロ群馬大会は中止であったが取組みの評価はできた。 ○本年度の県ユ連の活動の基本方針及び活動方針が承認された。 ○本年度の事業計画が承認されたことにより、会員への県ユ連の事業への参加への意欲化が図れたように思われる。 ○本年度予算案が承認された。
その他	定期総会の議案ごとの表決は、以下の通りであった。 2020年度事業報告 賛成20 反対0 一任16 2020年度決算報告並びに監査報告 賛成20 反対0 一任16 関ブロ群馬大会(中止)事業報告 賛成20 反対0 一任16 関ブロ群馬大会決算並びに監査報告 賛成20 反対0 一任16 2021年度活動方針(案)・事業計画(案) 賛成20 反対0 一任16 2021年度予算(案) 賛成20 反対0 一任16 よって、全ての議案が承認されたと議決した。

事業名	令和3年度群馬県ユネスコ連絡協議会研修視察IN中之条 ～白久保のお茶講体験～
趣旨・目的	日本ユネスコ協会連盟は、100年後の子ども達に地域の文化・自然遺産を伝えるため未来遺産運動を推進してきた。本研修視察は、中之条の歴史文化を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、各ユ協の活動の更なる活性化を図るとともに、県内会員相互の親睦を深めることを目的とする。
日時	2021年（令和3）7月3日（土） 14:00～16:40
会場	中之条町ツインプラザ 交流ホール
参加対象 ・参加者数	主催 群馬県ユネスコ連絡協議会 主管 中之条ユネスコ協会 協力 白久保お茶講保存会 参加者 県内各ユ協会員、事務局員、白久保お茶講保存会委員等 合計42人
事業内容 ・方法	<p>(1) 開会行事</p> <p>①開会の言葉 中之条ユネスコ協会副会長 剣持 千秋 ②あいさつ 県ユ連会長 樋口 克己 ③来賓祝辞 中之条町長 伊能 正夫 様 中之条町議会議長 山本 隆雄 様 中之条町教育委員会教育長 宮崎 一 様</p> <p>④講師紹介 ⑤日程説明</p> <p>(2) 講話： 講師：中之条町歴史と民俗の博物館ミュージアム館長 山口 道喜 氏 テーマ：「南北朝時代の吾妻と青山氏 ～闘茶の伝承～」</p> <p>(3) お茶講体験 講師：白久保お茶講保存会会長 町田 茂 氏</p> <p>(4) 閉会行事 あいさつ 中之条ユネスコ協会会長 畠村 真也 閉会のことば 中之条ユネスコ協会副会長 剣持 千秋</p>
期待される事業の効果	中之条町歴史と民俗の博物館ミュージアム館長の講話は、南北朝時代に中之条へ闘茶を伝えたという青山家との関連と共に、「白久保お茶講」の歴史についてであった。国指定重要無形文化財「白久保のお茶講」の実体験と共に次世代に継承されるべきものとして県内ユネスコ会員に周知できた。
その他	

事業名	運営研修会兼事務局員研修会 I N 館林
趣旨・目的	ユネスコ活動の課題等を情報交換することにより活動の充実を図る目的で開催する。持続可能な社会を作るために、地域の将来の担い手を育てる地域学習が重視されてきており、いくつかのユネスコ協会が取り組んでいる「絵で伝えよう 私の町のたからもの絵画展」など、地域学習を進めていくアイデアについて考える。
日時	2021年（令和3）11月27日（土） 10:00～14:00
会場	館林市城沼公民館 及び つつじ映像学習館
参加対象 ・参加者数	主催 群馬県ユネスコ連絡協議会 主管 館林ユネスコ協会 後援 館林教育委員会 参加者 県内各ユ協会員、事務局員、 合計32人
事業内容 ・方法	<p>(1) 開会行事</p> <p>①ユネスコの歌</p> <p>②開会のことば 県ユ連副会長 岸 正博</p> <p>③あいさつ 県ユ連会長 樋口 克己</p> <p>④来賓祝辞 館林教育委員会教育長 小野 定 様</p> <p>⑤日程説明</p> <p>(2) 研究協議 「わたしの町のたからもの」について</p> <p>(3) 講演会</p> <p>①講師紹介</p> <p>②講 演 ＜講 師＞館林教育委員会文化振興課 市史編さんセンター所長 岡屋 紀子 氏 ＜演 題＞シビックプライド！ 日本遺産「里沼」講座</p> <p>③質疑応答</p> <p>④謝 辞 館林ユ協会会長 大野 泰弘</p> <p>(4) 閉会行事 閉会のことば 館林ユ協会会長 大野 泰弘</p> <p>(5) 昼 食</p> <p>(6) つつじ映像学習館（自由参加）</p>
期待される 事業の効果	<p>研究協議：「わたしの町のたからもの」について、事前に回答いただいたアンケートをもとに発表していただき、各ユ協の取り組みや考えを共有しました。各ユ協は、地域の「たからもの」を守り続け、地域学習を行っていることがわかり、今後、地域学習を行うためにも、有意義な時間となりました。</p> <p>講演会：市史編さんセンターの岡屋先生から、日本遺産「里沼」についてご講演いただきました。館林市の「たからもの」である里沼について、市外の方にも知っていただく機会となり、改めて自分の町の「たからもの」を考えることが出来る時間となりました。</p>
その他	

事業名	第7回 群馬県ユネスコスクール研修会 (ユネスコスクール委員会・藤岡地方ユネスコ協会)
趣旨・目的	ESD/SDGs、ユネスコスクールの理解と実践の質的向上、並びに活動の推進を図る。
日時	2022年1月27日(木) 13:30~16:30
会場	藤岡市総合学習センター 教育庁舎第2第3会議室(藤岡市藤岡1485)
参加対象 ・参加者数	ユネスコ協会会員、学校教職員、教育委員会関係職員、一般参加者計83名。[内訳] 小中高教員42名(校長・教頭32名、教諭10名)、教委関係職員5名、ユ協会員34名(9ユ協)、一般(大学生)2名
事業内容 ・方法	<p>1 受付 13:00~13:30</p> <p>2 開会行事 13:30~13:40</p> <p>○ 主催あいさつ 群馬県ユネスコ連絡協議会会長 樋口 克己 同 ユネスコスクール委員会委員長 岸 正博</p> <p>○ 来賓あいさつ 藤岡市長 新井 雅博 様</p> <p>3 講演 13:40~14:40 演題:「ESD/ユネスコスクールの新たな潮流 ~SDGsの達成に資するESD for 2030~」 講師:東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員。日本ユネスコ協会連盟理事。地球環境学博士(京都大学) 及川 幸彦 氏</p> <p>(休憩) 14:40~14:50</p> <p>4 ユネスコスクール活動報告・現状と課題 14:50~15:20</p> <p>○「自然、人、社会とつながろう、かかわろう、そして広めよう ~未来の笑顔のために。目指せSDGs!~」 高崎市立六郷小学校校長 大山 知久 様</p> <p>○「生徒発!北中SDGs宣言 ~未来に生きる力を育む新たな挑戦~」 藤岡市立北中学校校長 山田 雅彦 様</p> <p>5 質疑・協議(I部II部を通して) 15:20~16:30 コーディネーター 藤岡地方ユ協副会長 新井 秀一 同 会長 岸 正博</p> <p>6 閉会 16:30 閉会のことば 藤岡地方ユ協副会長 西澤 恭順</p>
期待される事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校での教科等横断的な視点による単元配列表の作成、ESDカリキュラムのストーリー化と構造化。</li> <li>県内ユネスコスクールのネットワーク化の推進。学校教育と社会教育の連携・協働。</li> </ul>
その他	新型コロナウイルス感染予防のため、Zoomによるオンラインでの実施

事業名	広報誌「ユネスコ群馬」第80号、第81号の発行配布事業	
趣旨・目的	<p>県内各ユネスコ協会の活動、また各郷土文化等を広報誌「ユネスコ群馬」に掲載・発行・配布することにより、その理念の県内への普及に努め、これによってユネスコ活動の振興を図った。</p> <p>群馬県ユネスコ連絡協議会では各ユ協が連携協力しながら様々な活動を行っている。「ユネスコ群馬」の発行によって、県下にそのユネスコ活動への啓蒙活動を行うことを目的とする。</p>	
日時	2021年（令和3）7月 1日 2022年（令和4）1月12日          2回発行	
場所	県ユ連広報委員会	
対象	県下12ユ協・全会員・協力諸団体、関係機関等に配布	
	対象者・団体等の数	約2,000
事業内容 ・方法	<p>発行部数 「ユネスコ群馬」80号、81号          各2,200部</p> <p>配布先      県下全会員、県内外の関係機関及び協力団体</p> <p>事業内容    「ユネスコ群馬」を年2回編集発行した。2021年7月1日に80号、2022年1月12日に81号を発行した。前者は書面総会の内容と対面及びリモートで開催したユネスコスクール研修会について伝え、後者は群馬県ユ連主催事業である中之条で行われた研修視察と館林で行われた運営研修会兼事務局員研修会、また初めてリモートで開催された関ブロ・ユネスコ活動研究会in栃木大会を総括、12ユ協・ソロプチ前橋のコロナ禍における活動状況を報告、更に安中碓氷ユネスコ協会の活動をSDGs特集記事として広報した。</p>	
期待される事業の効果	<p>県内12ユネスコ協会と国際ソロプチミスト前橋また県ユ連や日ユ協連などの情報を共有することができた。</p> <p>昨年に続きコロナ禍において県ユ連も書面総会となったが、県内各ユ協も対面の総会はほぼ中止となった。他事業の活動についても状況に応じてユ協ごとに事業の中止・代替事業の実施・さらに対面にオンラインを取り入れた事業開催の可能性など他ユ協の情報を「ユネスコ群馬」から知り、来年度からの活動に生かすことが期待される。</p>	
その他 特記事項	特になし	

2021年度 各ユ協総会書面議決（桐生、前橋を除く）

ユ協名	期 日	ユ協名	期 日
桐生ユ協	対面 4月28日（水）	沼田ユ協	6月8日（水）
太田ユ協	5月18日（火）	館林ユ協	5月25日（月）
前橋ユ協	対面 5月15日（土）	安中碓氷ユ協	5月12日（水）
伊勢崎ユ協	5月20日（木）	藤岡地方ユ協	5月12日（水）
高崎ユ協	5月16日（日）	中之条ユ協	5月11日（火）
富岡ユ協	6月 6日（土）	大泉ユ協	5月16日（日）

文化活動補助事業

2021年度 国際理解バス

ユ協名	期 日	摘 要
館 林 ュ 協	中止	
藤岡地方ユ協	中止	代替行事 8/6 JICAとのオンライン研修会、並びに、各中学校リーダーによるSDGs実践の情報交換
前 橋 ュ 協	中止	
太 田 ュ 協	中止	
大 泉 ュ 協	中止	代替行事 8/20 JICAのパンフレットを町内中学校2年生各クラスと図書室に配布
沼 田 ュ 協	中止	
富 岡 ュ 協	中止	
高 崎 ュ 協	中止	代替行事 10/30 国際理解展示会開催

2021年度 作品展等

ユ協名	期 日	事 業 内 容
太田ユ協	11月20日（土）～11月24日（水）	第54回入賞者に賞状を配付
前橋ユ協	9月19日（月）～ 9月26日（月）	児童画展開催、表彰式は行っていない
伊勢崎ユ協	8月17日（火）～ 8月20日（金）	中止
高崎ユ協	10月22日（金）～10月27日（水）	児童画展開催、表彰式は行わず、学校を通じて入賞者に賞状・記念品配付
大泉ユ協	1月20日（木）～ 1月23日（日）	世界遺産写真展（中止）

# 2021(令和3)年度群馬県ユネスコ連絡協議会決算書

2022(令和4)年3月31日現在

## 1 収入の部

項 目	予算(円)	決算(円)	摘 要
繰越金	56,111	56,111	前年度繰越金
会 費	490,000	490,000	会費 490,000円 (40,000×12ユ協+国際ソロプチミスト前橋)
事業収入	390,000	392,000	事業費 240,000円 (20,000円×12ユ協) 名刺交換代 152,000円 (2,000円×76人)
補助金	70,000	70,000	群馬県教育委員会補助金
雑収入	20	1	普通預金利子
合 計	1,006,131	1,008,112	

## 2 支出の部

項 目	予算(円)	決算(円)	摘 要	
会 議 費	30,000	23,227	理事会等会議費	
旅 費	60,000	46,500	各種旅費	
通 信 費	30,000	27,944	切手等通信費	
印 刷 費	260,000	276,100	長三封筒1,000枚 2022年度総会議案書 広報「ユネスコ群馬」80号81号	
消耗品費	35,000	25,891	事務用品等消耗品費	
事業費	436,000	373,860		
事業費内訳	単ユ協助成	156,000	156,000	13,000円×12ユ協
	県ユ連総会	30,000	7,860	コロナ禍で対面中止し書面議決
	運営研修	50,000	50,000	館林ユネスコ協会
	海外青年交歓研修	0	0	
	研修視察	50,000	50,000	中之条ユネスコ協会
	世界遺産委員会	30,000	0	伊勢崎ユネスコ協会 コロナ禍で中止
	ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	藤岡地方ユネスコ協会
	国際理解バス	16,000	6,000	2,000円×3ユ協 (大泉、藤岡地方、高崎)
	HP維持管理費	30,000	30,000	松本千恵子
	文化活動補助費	24,000	24,000	6,000円×4ユ協 (大泉、前橋、太田、高崎)
構成員負担金	6,600	6,600	教育振興会会費 3,000円 日ユ協連年会費 3,600円	
積立金	100,000	150,000	関プロ積立金 50,000円 60周年事業積立金 100,000円	
慶弔費	20,000	18,557	土田正様弔花、五十嵐実母様弔電	
予備費	28,531	5,220	新井正雄様祝い花、振込手数料	
支出合計	1,006,131	953,899		
期末残高	/	54,213		
合 計	1,006,131	1,008,112		

3 残高 収入金額 1,008,112円 - 支出金額 953,899円 = 54,213円  
期末残高 54,213円 は、次年度に繰り越します。

なお、特別会計積立金残高は次の通りです。

関プロ積立金	639,711	円
創立60周年記念事業積立金	250,013	円

2022(令和4)年 3月 31日

群馬県ユネスコ連絡協議会

会 計 徳井 理恵子  
会 計 山崎 貞幸



#### 監査報告

群馬県ユネスコ連絡協議会2021(令和3)年度会計について、通帳、帳簿、領収書を監査したところ、正確かつ適正に処理されていたことを確認しましたので、決算書のとおり相違ないことを報告いたします。

2022(令和4)年 3月 31日

群馬県ユネスコ連絡協議会

監 事 矢野 薫  
監 事 新井 正雄



令和4年4月13日

群馬県ユネスコ連絡協議会会長

樋口克己様

役員推薦委員会委員長

山崎貞幸

令和4年度 群馬県ユネスコ連絡協議会本部役員推薦について  
標記の件につきまして、下記のように推薦いたします。

令和4、5年度（2022、2023年度） 本部役員案

役職	氏名	所属ユ協	備考
会長	岸 正博	藤岡地方	
副会長	中村利光	太田	
副会長	設楽孝吉	伊勢崎	
副会長	串田昭光	高崎	
副会長	田中一枝	桐生	
監事	矢野 薫	安中碓氷	
監事	矢島俊夫	前橋	

## 2022 年度 活動方針（案）

### 1 活動テーマ

広げよう 平和の心

－持続可能な社会の実現を目指す民間ユネスコ活動－

### 2 趣旨

ユネスコ憲章前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。・・・よって平和は、失われたいためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない」とある。21 世紀は激動する国際社会であり、真の世界平和が実現するとはいえない状況にある中、改めてユネスコの理念の崇高さと使命の大切さを痛感する。

日本ユネスコ国内委員会は、ユネスコ創設 70 周年の提言として、新しい時代の国際社会における知的リーダーとしての役割、持続可能な社会の実現への貢献、多様性を尊重する社会の実現への貢献を提言している。

そこで、2022 年度の県ユ連活動方針として、次の 3 点をあげる。

#### (1) 教育、科学、文化、情報・コミュニケーションを通じた平和な世界への貢献

ユネスコ精神を普及し、平和の活動の輪を広げる。

#### (2) ESD/SDGs の推進

SDGs 全ての目標達成に貢献する持続可能な開発のための教育（ESD）を推進する。

#### (3) 文化多様性の保護・促進

文化遺産・自然遺産・未来遺産等にかかわる情報発信や保護・保全の活動を推進する。

グローバリズムが存在価値を問われ、国際社会、地域社会の連帯の危機の中、私たちは地域で何をなすべきか、何が期待されているのか、これからの民間ユネスコ活動の役割は何かを課題意識とし、活動を進めていくこととする。

## 2022年度 群馬県ユネスコ連絡協議会 事業計画（案）

	事業名	期日	会場	備考
県ユ連主催事業	定期総会	5月22日(日)	桐生市市民文化会館	<桐生ユ協主管>事業・決算報告、事業計画(案)予算(案)等審議
	運営研修会兼事務局員研修会	11月5日(土)	土屋文明記念文学館	<高崎ユネスコ協会主管>
	研修視察	中止		
	海外青年交歓研修会	9月17日(土)	太田市社会教育総合センター	<太田ユネスコ協会主管>
専門	ユネスコスクール研修会	未定	藤岡市総合学習センター	<ユネスコスクール委員会担当>
	世界遺産研修会	10月1日(土)	伊勢崎市境島村公民館	<伊勢崎ユネスコ協会主管>
補助事業	国際理解バス	8月中に県内のユ協が実施予定	訪問先は東京又は筑波JICAや都内大使館等	*国際理解・国際交流を図るため、各ユ協が児童・生徒対象に実施
	文化活動補助 —絵画等作品展の補助—	県内4ユ協がユ協毎に実施	各ユ協が会場を設定	*児童・生徒の絵画等の作品の展示会を単位ユ協が行う。
会議	理事会	年間6回 (隔月開催)	藤岡公民館	コロナ感染状況により会場の変更あり
	役員会議	適宜開催	藤岡市総合学習センター	*本部役員と事務局員参加
日ユ協連等	日ユ協連定時総会	6月25日(土)	東京・大手町	
	日本ユネスコ運動全国大会	11月26日(土)	千葉県木更津市	会場：かずさアカデミア・パーク
	関プロ大会	同	同	同
	平和の鐘を鳴らそう！	7月～8月	全国各地キャンペーン	民間ユネスコ運動の日(7/14)
	日ユ協連評議員会に出席	年間2回開催	東京・大手町	本県の評議員が出席予定
その他	世界寺子屋運動実践 (日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が「書きそんじハガキ等回収キャンペーン」を推進
	東日本大震災子ども支援 募金(日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が募金を継続、震災被災者への就学支援

※ 沼田ユ協 創立50周年記念事業 2022年10月15日(土)

### 2022年度 各ユ協総会開催期日

桐生ユ協	4月16日(土)	高崎ユ協	5月15日(日)	安中碓氷ユ協	5月20日(金)
太田ユ協	5月13日(金)	富岡ユ協	6月3日(金)	藤岡地方ユ協	5月12日(木)
前橋ユ協	5月14日(土)	沼田ユ協	6月3日(金)	中之条ユ協	5月17日(火)
伊勢崎ユ協	5月19日(木)	館林ユ協	4月28日(木)	大泉ユ協	5月14日(土)

### 2022年度 国際理解バス実施予定

太田ユ協	8月26日(金) 検討中	沼田ユ協	8月 つくばJICA つくばJAXA
前橋ユ協	中止	館林ユ協	7月下旬平日 埼玉県立自然の博物館、川の博物館
高崎ユ協	8月7日(日) (代替) 国際理解展示会	藤岡地方ユ協	8月4日(木) JICA 地球ひろば
富岡ユ協	8月末	大泉ユ協	未定

### 2022年度 各ユ協作品展開催予定

太田ユ協	11月18日(金)～11月22日(火)	伊勢崎ユ協	8月16日(火)～8月19日(金)
前橋ユ協	9月下旬～10月上旬	高崎ユ協	10月21日(金)～10月26日(水)
安中ユ協	11月10日(木)～11月13日(日)	大泉ユ協	未定

## 2022年度 群馬県ユネスコ連絡協議会 予算(案)

### 1 収入

項 目	2021年度 予算(円)	2022年度 予算(円)	摘 要
繰越金	56,111	54,213	前年度繰越金
会費	490,000	490,000	会費 490,000円 (40,000円×12ユ協+10,000円 国際ソロプチミスト前橋)
事業収入	390,000	390,000	事業費 240,000円(20,000円×12ユ協) 名刺交換代 150,000円(2,000円×75人)
補助金	70,000	70,000	群馬県教育委員会補助金
雑収入	20	20	普通預金利子
合計	<b>1,006,131</b>	<b>1,004,233</b>	

### 2 支出

項 目	2021年度 予算(円)	2022年度 予算(円)	摘 要	
会議費	30,000	30,000	理事会等会議費	
旅費	60,000	60,000	各種旅費	
通信費	30,000	30,000	切手等通信費	
印刷費	260,000	260,000	<内訳> 各種印刷経費 10,000円 広報「ユネスコ群馬」年2回発行 250,000円	
消耗品費	35,000	35,000	事務用品等消耗品費	
事業費	436,000	446,000		
事業 費 内 訳	単ユ協助成	156,000	156,000	13,000円×12ユ協
	県ユ連総会	30,000	30,000	桐生ユネスコ協会
	運営研修	50,000	50,000	高崎ユネスコ協会
	海外青年交歓研修	0	50,000	太田ユネスコ協会
	研修視察	50,000	0	中止
	世界遺産委員会	30,000	30,000	伊勢崎ユネスコ協会
	ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	藤岡地方ユネスコ協会
	国際理解バス	16,000	14,000	2,000円×7ユ協(館林、大泉、藤岡地方、 沼田、太田、富岡、高崎)
	HP維持管理費	30,000	30,000	
文化活動補助費	24,000	36,000	6,000円×6ユ協(伊勢崎、前橋、太田、高崎、 安中、大泉)	
構成員負担金	6,600	6,600	<内訳> 県教育振興会会費 3,000円 日ユ協連会費 3,600円	
積立金	100,000	100,000	<内訳> 関プロ積立金 50,000円 創立60周年記念事業積立金 50,000円	
慶弔費	20,000	20,000		
予備費	28,531	16,633		
合計	<b>1,006,131</b>	<b>1,004,233</b>		

# 資 料 編

# 群馬県ユネスコ連絡協議会会則

## (名称及び事務所)

第1条 この会は、群馬県ユネスコ連絡協議会といい、事務所を群馬県教育委員会事務局生涯学習課におく。

## (目的)

第2条 この会は、県内所在のユネスコ協会及びその構成員（以下「会員」という）相互の連絡提携並びに次代を担う青少年の健全育成を図り、もってユネスコ活動の振興発展に寄与することを目的とする。

## (事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡提携
- (2) ユネスコ活動推進のため、会員の行う活動に対する協力援助
- (3) 関係行政機関及び日本ユネスコ協会連盟に対する協力援助
- (4) ユネスコ活動推進のための各種集会の開催、調査・広報活動、その他必要な事項

## (組織)

第4条 この会は、会員並びにこの会に賛同し、理事会の承認を得た個人及び団体（以下「賛助会員」という）をもって組織する。

## (役員)

第5条 この会に、次の役員をおく。

- |     |     |
|-----|-----|
| 会長  | 1名  |
| 副会長 | 若干名 |
| 監事  | 2名  |

- 2 役員は、総会において選出する。
- 3 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠による役員は、前任者の残任期間とする。

## (役員の仕事)

第6条 会長はこの会を代表し、会務を総理する。  
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。  
3 理事は、理事会を構成し、この会の運営に関する事項を審議し、またそれを議決する。

## (名誉会長・顧問・参加)

第7条 この会に、理事会の議を経て、名誉会長及び顧問・参加をおくことができる。

## (会議)

第8条 この会の会議は、総会、理事会とする。

## (総会)

第9条 総会は各協会会員の出席によって開催し、次の事項を審議し議決する。

- (1) 決算の承認
- (2) 事業計画並びに予算の承認
- (3) 役員を選出
- (4) 会則の変更
- (5) その他必要な事項

## (理事会)

第10条 理事会は、会長・副会長・理事をもって構成し、この会の運営に関する事項について議決する。

## (青年部)

第11条 この会に青年ユネスコ活動の振興を図るため青年部をおく。

2 青年部の会則は別に定める。

## (事務局)

第12条 この会に事務局を設け、事務局長1名、事務局次長・書記若干名、及び会計2名をおく。事務局員は会長が委嘱する。

## (会費)

第13条 会費は次のとおりとする。

構成団体	年 額	40,000円
賛助会員	1口年額	10,000円

## (専門委員会)

第14条 本会の事業を遂行するため各種専門委員会をおくことができる。

## (細則・表彰・慶弔規定)

第15条 本会の会務執行に関する細則並びに表彰・慶弔規定は理事会の議を経て別に定める。

## (会計年度)

第16条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

## 附則

この会則は、昭和42年05月04日から実施する。

昭和51年05月15日会則一部改正

昭和55年05月24日会則一部改正

昭和62年05月02日会則一部改正

昭和63年05月14日会則一部改正

平成03年05月26日会則一部改正

平成12年05月21日会則一部改正

平成20年05月17日会則一部改正

## 群馬県ユネスコ連絡協議会表彰規定

(趣 旨)

ユネスコ活動の発展に寄与・尽力された本会会員、準会員並びに各ユネスコ協会所属の団体・個人に対して表彰状または感謝状を贈り、その貢献を讃え、ユネスコ活動の発展に資するものとする。

(受賞対象・方法)

- 1 主としてユネスコ活動に関する功労によって叙勲・褒賞および文部科学大臣または外務大臣表彰を受けられた方
- 2 県ユネスコ活動功労者
  - (1) 群馬県ユネスコ連絡協議会会長の職にあった方
  - (2) 会長の推薦する県ユネスコ活動に関する功労者
  - (3) 理事の推薦で理事会の承認を得た県のユネスコ活動功労者

## 群馬県ユネスコ連絡協議会慶弔規程

第1条 本規定は、群馬県ユネスコ連絡協議会の役員・理事の慶弔・長期疾病等に際し慶弔の意を表するものとする。

第2条 役員・理事およびその家族が死亡した時は次の通り弔意を表す。

- 1 役員・理事の死亡→弔電、花輪（代表者参列）
- 2 配偶者および同居の親の死亡→弔電

第3条 役員・理事の長期疾病等に際しては、その都度、協議し見舞いをする。

第4条 本規定によりがたい時は、協議の上、決定する。

第5条 各協会の周年事業に対して、各協会は1万円を祝い金とする。

附則

この規定は、平成09年04月制定・施行

## 本協議会役員推薦内規

この内規は、会則第5条（役員）の選出規定に基づく規定とする。

第1条 この内規により選出する役員は、次のとおりとする。

会長1名、副会長若干名、監事2名

第2条 前条の規定による役員選出に当たるため、役員推薦委員会を組織する。

第3条 役員推薦委員会（以下「委員会」という。）は次による。

- 1 推薦委員は各協会から1名とする。但し、単体ユ協会長および県ユ連監事は推薦委員になることができない。
- 2 推薦委員会委員長1名および副委員長1名は、委員会で互選する。
- 3 ユネスコ担当の県の行政主管課担当者および県ユ連事務局長は、オブザーバーとして委員会に出席することができる。

第4条 委員会は、推薦委員長が召集し、会議の議長となる。但し、推薦委員長が決定するまでの間の委員会招集および開会は、県ユ連会長がこれを行う。

第5条 委員会により推薦を受けた第1条に規定する役員は、本人受諾後に開催される県ユ連定期総会において承認され、決定する。

附則

この規定は、平成27年05月09日制定・施行

## 会務執行に関する細則

(細則制定の根拠及び目的)

第1条 本協議会会則第15条に「会務執行に関する細則並びに表彰・慶弔規程は理事会の議を経て別に定める。」と規定されている。

そこで、本協議会の事業について、役員・理事および会員の共通理解を図り、会務を円滑に進めるために本細則を制定する。

(本協議会の主催事業)

第2条 本協議会の主催事業には次の3つがあり、担当するユ協が主管し、事業を推進する。

- (1) 運営研修会兼事務局員研修会  
組織や運営面等の課題について研究協議する。年度ごとに課題を設定する。
- (2) 研修視察  
県内各地域の文化や自然を守るための活動の一環として、現地視察を通して研修する。
- (3) 海外青年交歓研修会  
異文化理解と国際交流を図るために、地域に住む外国人青年との交歓交流をする。

(本協議会の補助事業)

第3条 本協議会は、国際理解バス及び絵画等作品展を実施するユ協を支援する。

- (1) 国際理解バス  
国際理解を図るため、児童・生徒がバスを利用し大使館や JICA 等を訪問する事業に対して助成する。
- (2) 文化活動補助  
児童・生徒の絵画等の作品展を実施するユ協に対して文化活動奨励のための助成をする。

(専門委員会の設置)

第4条 本協議会の会務を充実させる目的で次の2つの常設の専門委員会を設置する。

- (1) 世界遺産委員会  
世界遺産や地域遺産の保護・保全や会員及び県民への啓発活動を進める。  
委員会組織は、委員長1名、副委員長若干名及び委員で構成する。
- (2) ユネスコスクール委員会  
SDGs、ESD・ユネスコスクールの理解と実践の質的向上、並びに活動の推進を図る。  
委員会組織は、委員長1名、副委員長若干名及び委員で構成する。

(実行委員会の編成)

第5条 本協議会の周年記念事業や関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 群馬や周年記念事等を効果的に推進するために実行委員会を編成することができる。

実行委員会組織は、委員長1名、副委員長千名及び委員で構成する。

必要に応じて部会組織を編成し、効果的に業を推進する。

(広報活動)

第6条 本協議会の活動を紹介し、会員や関係に啓発活動をするため、広報誌を発行するとともに、ホームページを公開する。

- (1) 広報「ユネスコ群馬」の刊行  
年2回刊行し、県内の全ユネスコ会員及び係者に配布する。編集は「ユネスコ群馬」編集委員会が行う。
- (2) ホームページの公開  
ホームページを活用し、本協議会の事業やユ協の活動内容等を紹介する。  
ウェブサイト <https://gunma-unesco.com/>

附則

本細則は、令和元年10月02日から施行する

## 2022(令和4)年度 県ユ連事業のホストユ協

年 度	定期総会	特記事項	国際理解パス	海外青年	運営研修	研修視察	国際理解	関プロ大会	世界遺産
1987(昭62)	館 林		富 岡	アセアン教員	桐 生		中之条	東京都	
8 8 (昭63)	高 崎	関プロ群馬			沼 田		前 橋	群馬(中之条)	
8 9 (平 1)	前 橋			富 岡			桐 生	神奈川(横浜)	
9 0 (平 2)	大間々		藤岡地方	新 田	渋 川		太 田	茨城(筑波)	
9 1 (平 3)	高 崎	関プロ群馬			沼 田		前 橋	群馬(中之条)	
9 2 (平 4)	新 田		藤岡地方	太 田	桐 生		高 崎	群馬(富岡)	
9 3 (平 5)	富 岡		渋 川	高 崎	伊勢崎		前 橋	栃木(足利)	
9 4 (平 6)	太 田		新 田	前 橋	中之条		渋 川	東京都	
9 5 (平 7)	伊勢崎		県内9ユ協	太田大泉	沼 田	藤岡地方	新 田	千葉(市原)	
9 6 (平 8)	高 崎	関プロ群馬	県内11ユ協	桐 生			新 田	群馬(富岡)	
9 7 (平 9)	新 田		県内10ユ協	館 林	前 橋		富 岡	栃木(足利)	
9 8 (平10)	大 泉	県ユ30周年	県内11ユ協	安中碓氷	中之条		富 岡	東京都	
9 9 (平11)	藤岡地方		県内10ユ協	大 泉	渋 川	桐 生	伊勢崎	千葉(市原)	
2000(平12)	富 岡		県内ユ協	太 田	沼 田	大間々	太 田	茨城(土浦)	
0 1 (平13)	渋 川		県内ユ協	新 田	高 崎	館 林		埼玉(寄居地方)	
0 2 (平14)	安中碓氷	関プロ群馬	県内ユ協	太 田				群馬(沼田)	
0 3 (平15)	中之条		県内ユ協	伊勢崎	高 崎	富 岡		栃木(日光)	
0 4 (平16)	大間々		県内ユ協	前 橋	太 田	藤岡地方		東京都(小平)	
0 5 (平17)	高 崎		県内ユ協	大 泉	館 林	富 岡		茨城(ひたちなか)	
0 6 (平18)	前 橋		県内ユ協	安 中	沼 田	桐 生		埼玉(大宮)	委員会設立
0 7 (平19)	伊勢崎	県ユ40周年	県内ユ協		太 田			千葉(柏)	スタディ ツアー
0 8 (平20)	安中碓氷	関プロ群馬	県内ユ協		大 泉			群馬(高崎)	実施
0 9 (平21)	太 田		県内ユ協	沼 田前橋	安 中	伊勢崎		栃木(足利)	
1 0 (平22)	桐 生		県内ユ協	高 崎	富 岡	沼 田		東京都(目黒)	桐 生
1 1 (平23)	藤岡地方		県内ユ協	太 田	安中碓氷	館 林		千葉	高 崎
1 2 (平24)	前 橋		県内ユ協	大 泉	高 崎	富 岡	ユネスコ スクール 研修会	茨城(つくば)	伊勢崎
1 3 (平25)	中之条		県内ユ協	伊勢崎	沼 田	藤岡地方		埼玉(越谷)	安中碓氷
1 4 (平26)	太 田	関プロ群馬	県内ユ協	*中止	*中止	*中止		群馬(高崎)	
1 5 (平27)	館 林		県内ユ協	安中碓氷	桐 生	前 橋	藤岡地方	栃木(佐野)	
1 6 (平28)	太 田		県内ユ協	藤岡地方		高 崎	藤岡地方	東京都(渋谷)	
1 7 (平29)	沼 田	県ユ50周年	県内ユ協	*中止	*中止	*中止	藤岡地方	千葉(市川)	
1 8 (平30)	大 泉		県内ユ協	伊勢崎	沼 田	館 林	藤岡地方	茨城(水戸)	高 崎
1 9 (令 1)	高 崎		県内ユ協	前 橋	太 田	安中碓氷	藤岡地方	埼玉(蓮田)	富 岡
2 0 (令 2)	*中止	関プロ中止	*中止	*中止	*中止	*中止	藤岡地方	群馬(高崎中止)	*中止
2 1 (令 3)	*中止		県内ユ協	*中止	館 林	中之条	藤岡地方	栃木(足利)	*中止
2 2 (令 4)	桐 生		県内ユ協	太 田	高 崎	*中止	藤岡地方	千葉(木更津)	伊勢崎

<備 考> ○2022年11月26日(土) 関プロ大会は全国大会も兼ねる(千葉・木更津)

## 群馬県ユネスコ連絡協議会会員一覧表（設立順）

群馬県ユネスコ連絡協議会 1967年（昭和42）3月4日 設立

単位ユネスコ協会名	設立年月日	備考
桐生ユネスコ協会	1948年（昭和23）12月 3日	
太田ユネスコ協会	1967年（昭和42） 2月16日	
前橋ユネスコ協会	1967年（昭和42） 3月 2日	
伊勢崎ユネスコ協会	1967年（昭和42）11月11日	
高崎ユネスコ協会	1969年（昭和44）11月24日	
富岡ユネスコ協会	1971年（昭和46） 3月13日	
沼田ユネスコ協会	1971年（昭和46） 3月28日	
館林ユネスコ協会	1972年（昭和47） 5月20日	
安中碓氷ユネスコ協会	1976年（昭和51） 3月22日	
藤岡地方ユネスコ協会	1977年（昭和52） 7月16日	
中之条ユネスコ協会	1979年（昭和54）11月11日	
大泉ユネスコ協会	1994年（平成 6） 9月 3日	
国際ソロプチミスト前橋	1976年（昭和51）12月 9日	



群馬県ユネスコ連絡協議会

# 手に手をとって

(ユネスコの歌)

菱山修三 作詞  
古関裕面 作曲

明るく楽しく ♩=112

せ かい じゅう の ひ と たち が み ん な 手 に 手 を  
つ な い だ ら せ かい は 一 日 の 照 る 一 ま ひ る 一  
に 一 な 一 る 一 み ん な は な わ を 一 つ く っ た ら は な  
わ と は な わ を 一 む す ん だ ら ぐ る ぐ る ま わ る 輪  
に な っ て ひ ろ い 一 地 き ゅ う 一 を か こ ん だ 一  
ら 一 せ かい は あ か る い そ の に な る あ あ  
一 ユ ネ ス コ 一 あ あ 一 ユ ネ ス コ 一

世界じゅうのひとたちが  
みんな 手に手をつないだら  
世界は  
日の照る まひるになる  
みんな 花輪をつくったら  
花輪と花輪を むすんだら  
ぐるぐる まわる 輪になって  
ひろい地球を かこんだら  
世界は  
あかるい 苑になる  
ああ ユネスコ  
ああ ユネスコ

群馬県ユネスコ連絡協議会

会 長 岸 正博  
事務所 群馬県教育委員会生涯学習課  
住 所 〒370-0026 前橋市大手町1-1-1  
電 話 027-226-4661